

Table 13 つづき

No	JP15日本名	JP14日本名	変更理由					
			アミンの酸塩	四級アンモニウム塩	アルコールのエステル誘導体	カルボンのエステル誘導体	水和物	その他
105	クロミフェンクエン酸塩錠	クエン酸クロミフェン錠	○					
106	クロミプラミン塩酸塩	塩酸クロミプラミン	○					
107	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	コハク酸クロラムフェニコールナトリウム			○			
108	クロラムフェニコールパルミチン酸エステル	パルミチン酸クロラムフェニコール			○			
109	クロルフェニラミンマレイン酸塩	マレイン酸クロルフェニラミン	○					
110	クロルフェニラミンマレイン酸塩散	マレイン酸クロルフェニラミン散	○					
111	クロルフェニラミンマレイン酸塩錠	マレイン酸クロルフェニラミン錠	○					
112	クロルフェニラミンマレイン酸塩注射液	マレイン酸クロルフェニラミン注射液	○					
113	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	d-マレイン酸クロルフェニラミン	○					
114	クロルフェネシンカルバミン酸エステル	カルバミン酸クロルフェネシン			○			
115	クロルプロマジン塩酸塩	塩酸クロルプロマジン	○					
116	クロルプロマジン塩酸塩錠	塩酸クロルプロマジン錠	○					
117	クロルプロマジン塩酸塩注射液	塩酸クロルプロマジン注射液	○					
118	クロルヘキシジン塩酸塩	塩酸クロルヘキシジン	○					
119	クロルヘキシジングルコン酸塩液	グルコン酸クロルヘキシジン液	○					
120	クロルマジノン酢酸エステル	酢酸クロルマジノン			○			
121	ケタミン塩酸塩	塩酸ケタミン	○					
122	ケトチフェンフマル酸塩	フマル酸ケトチフェン	○					
123	ゲンタマイシン硫酸塩	硫酸ゲンタマイシン	○					
124	コカイン塩酸塩	塩酸コカイン	○					
125	コデインリン酸塩水和物	リン酸コデイン	○				○	
126	コデインリン酸塩散1%	リン酸コデイン散1%	○					
127	コデインリン酸塩散10%	リン酸コデイン散10%	○					
128	コデインリン酸塩錠	リン酸コデイン錠	○					
129	ゴナドレリン酢酸塩	新収載	○					
130	コリスチン硫酸塩	硫酸コリスチン	○					
131	コルチゾン酢酸エステル	酢酸コルチゾン			○			
132	酢酸ナトリウム水和物	酢酸ナトリウム					○	
133	サッカリンナトリウム水和物	サッカリンナトリウム					○	
134	サルブタモール硫酸塩	硫酸サルブタモール	○					
135	ジエチルカルバマジンクエン酸塩	クエン酸ジエチルカルバマジン	○					
136	ジエチルカルバマジンクエン酸塩錠	クエン酸ジエチルカルバマジン錠	○					
137	ジクロキサシリンナトリウム水和物	ジクロキサシリンナトリウム					○	
138	シクロペントラート塩酸塩	塩酸シクロペントラート	○					
139	シクロホスファミド水和物	シクロホスファミド					○	
140	ジスチグミン臭化物	臭化ジスチグミン		○				
141	ジスチグミン臭化物錠	臭化ジスチグミン錠		○				
142	シソマイシン硫酸塩	硫酸シソマイシン	○					
143	ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩	メシル酸ジヒドロエルゴタミン	○					
144	ジヒドロエルゴトキシンメシル酸塩	メシル酸ジヒドロエルゴトキシン	○					
145	ジヒドロコデインリン酸塩	リン酸ジヒドロコデイン	○					
146	ジヒドロコデインリン酸塩散1%	リン酸ジヒドロコデイン散1%	○					
147	ジヒドロコデインリン酸塩散10%	リン酸ジヒドロコデイン散10%	○					
148	ジフェンドール塩酸塩	塩酸ジフェンドール	○					
149	ジフェンヒドラミン塩酸塩	塩酸ジフェンヒドラミン	○					
150	ジフェンヒドラミン・バレリル尿素散	ジフェンヒドラミン・バレリル尿素散						○

Table 13 つづき

No	JP15日本名	JP14日本名	変更理由					
			アミンの酸塩	四級アミンモニウム塩	アルコールのエステル誘導体	カルボンのエステル誘導体	水和物	その他
151	ジブカイン塩酸塩	塩酸ジブカイン	○					
152	シプロヘプタジン塩酸塩水和物	塩酸シプロヘプタジン	○				○	
153	ジベカシン硫酸塩	硫酸ジベカシン	○					
154	ジメモルファンリン酸塩	リン酸ジメモルファン	○					
155	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	プロピオン酸ジョサマイシン			○			
156	ジラゼブ塩酸塩水和物	塩酸ジラゼブ	○				○	
157	ジルチアゼム塩酸塩	塩酸ジルチアゼム	○					
158	スキサメトニウム塩化物水和物	塩化スキサメトニウム		○			○	
159	スキサメトニウム塩化物注射液	塩化スキサメトニウム注射液		○				
160	注射用スキサメトニウム塩化物	注射用塩化スキサメトニウム		○				
161	スクラルファート水和物	スクラルファート					○	
162	スコポラミン臭化水素酸塩水和物	臭化水素酸スコポラミン	○				○	
163	ストレプトマイシン硫酸塩	硫酸ストレプトマイシン	○					
164	スピラマイシン酢酸エステル	アセチルスピラマイシン			○			
165	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	塩酸スペクチノマイシン	○				○	
166	スルタミシリンシル酸塩水和物	トシル酸スルタミシリン	○				○	
167	スルピリン水和物	スルピリン					○	
168	スルファモノメトキシ水和物	スルファモノメトキシ					○	
169	ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	胎盤性性腺刺激ホルモン						○
170	注射用ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	注射用胎盤性性腺刺激ホルモン						○
171	セトラキサート塩酸塩	塩酸セトラキサート	○					
172	セフェビム塩酸塩水和物	塩酸セフェビム	○				○	
173	注射用セフェビム塩酸塩	注射用塩酸セフェビム	○					
174	セフォゾプラン塩酸塩	塩酸セフォゾプラン	○					
175	注射用セフォゾプラン塩酸塩	新収載	○					
176	セフォチアム塩酸塩	塩酸セフォチアム	○					
177	注射用セフォチアム塩酸塩	新収載	○					
178	セフォチアム ヘキセチル塩酸塩	塩酸セフォチアムヘキセチル	○			○		
179	セフカペン ビボキシル塩酸塩水和物	塩酸セフカペン ビボキシル	○				○	
180	セフカペン ビボキシル塩酸塩細粒	新収載	○					
181	セフカペン ビボキシル塩酸塩錠	新収載	○					
182	セフトラジウム水和物	セフトラジウム					○	
183	セフチブテン水和物	セフチブテン					○	
184	セフテラム ビボキシル	セフテラムビボキシル				○		
185	セフテラム ビボキシル細粒	新収載				○		
186	セフトリアキソンナトリウム水和物	セフトリアキソンナトリウム					○	
187	セフピロム硫酸塩	硫酸セフピロム	○					
188	セフボドキシム プロキセチル	セフボドキシムプロキセチル				○		
189	セフミノクスナトリウム水和物	セフミノクスナトリウム					○	
190	セフメノキシム塩酸塩	塩酸セフメノキシム	○					
191	セフロキサジン水和物	セフロキサジン					○	
192	セフロキシム アキセチル	セフロキシムアキセチル				○		
193	セラセフェート	酢酸フタル酸セルロース						○
194	ソルビタンセスキオレイン酸エステル	セスキオレイン酸ソルビタン			○			
195	ダウノルピシン塩酸塩	塩酸ダウノルピシン	○					
196	タムスロシン塩酸塩	新収載	○					
197	タランピシリン塩酸塩	塩酸タランピシリン	○					
198	炭酸ナトリウム水和物	炭酸ナトリウム					○	
199	ダントロレンナトリウム水和物	ダントロレンナトリウム					○	
200	チアミン塩化物塩酸塩	塩酸チアミン	○	○				

Table 13 つづき

No	JP15日本名	JP14日本名	変更理由					
			アミン の酸塩	四級ア ンモニ ウム塩	アル コール のエステ ル誘 導体	カルボ ン酸の エステ ル誘 導体	水和物	その他
201	チアミン塩化物塩酸塩散	塩酸チアミン散	○	○				
202	チアミン塩化物塩酸塩注射液	塩酸チアミン注射液	○	○				
203	チアミン硝化物	硝酸チアミン		○				
204	チアラミド塩酸塩	塩酸チアラミド	○					
205	チアラミド塩酸塩錠	塩酸チアラミド錠	○					
206	チオリダジン塩酸塩	塩酸チオリダジン	○					
207	チオ硫酸ナトリウム水和物	チオ硫酸ナトリウム					○	
208	チクロピジン塩酸塩	塩酸チクロピジン	○					
209	チザニジン塩酸塩	塩酸チザニジン	○					
210	チペピジンヒベンズ酸塩	ヒベンズ酸チペピジン	○					
211	チペピジンヒベンズ酸塩錠	ヒベンズ酸チペピジン錠	○					
212	チメピジウム臭化物水和物	臭化チメピジウム		○			○	
213	チモロールマレイン酸塩	新収載	○					
214	ツボクラリン塩化物塩酸塩水和物	塩化ツボクラリン	○	○			○	
215	ツボクラリン塩化物塩酸塩注射液	塩化ツボクラリン注射液	○	○				
216	ツロプテロール塩酸塩	塩酸ツロプテロール	○					
217	デキストラン硫酸エステルナトリウム イオウ5	デキストラン硫酸ナトリウム イオウ5				○		
218	デキストラン硫酸エステルナトリウム イオウ18	デキストラン硫酸ナトリウム イオウ18				○		
219	デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物	臭化水素酸デキストロメトルファン	○				○	
220	テストステロンエナント酸エステル	エナント酸テストステロン				○		
221	テストステロンエナント酸エステル注射液	エナント酸テストステロン注射液				○		
222	テストステロンプロピオン酸エステル	プロピオン酸テストステロン				○		
223	テストステロンプロピオン酸エステル注射液	プロピオン酸テストステロン注射液				○		
224	テトラカイン塩酸塩	塩酸テトラカイン	○					
225	テトラサイクリン塩酸塩	塩酸テトラサイクリン	○					
226	デフェロキサミンメシル酸塩	メシル酸デフェロキサミン	○					
227	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	塩酸デメチルクロルテトラサイクリン	○					
228	テルブタリン硫酸塩	硫酸テルブタリン	○					
229	ドキサプラム塩酸塩水和物	塩酸ドキサプラム	○				○	
230	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	塩酸ドキシサイクリン	○				○	
231	ドキシソルピシン塩酸塩	塩酸ドキシソルピシン	○					
232	トコフェロールコハク酸エステルカルシウム	コハク酸トコフェロールカルシウム				○		
233	トコフェロール酢酸エステル	酢酸トコフェロール				○		
234	トコフェロールニコチン酸エステル	ニコチン酸トコフェロール				○		
235	トドララジン塩酸塩水和物	塩酸トドララジン	○				○	
236	ドパミン塩酸塩	塩酸ドパミン	○					
237	ドパミン塩酸塩注射液	塩酸ドパミン注射液	○					
238	ドブタミン塩酸塩	塩酸ドブタミン	○					
239	トリヘキシフェニジル塩酸塩	塩酸トリヘキシフェニジル	○					
240	トリヘキシフェニジル塩酸塩錠	塩酸トリヘキシフェニジル錠	○					
241	トリメタジジン塩酸塩	塩酸トリメタジジン	○					
242	トリメタジジン塩酸塩錠	新収載	○					
243	トリメトキノール塩酸塩水和物	塩酸トリメトキノール	○				○	
244	トリメブチンマレイン酸塩	マレイン酸トリメブチン	○					
245	トルペリゾン塩酸塩	塩酸トルペリゾン	○					
246	ナファゾリン塩酸塩	塩酸ナファゾリン	○					
247	ナファゾリン硝酸塩	硝酸ナファゾリン	○					

Table 13 つづき

No	JP15日本名	JP14日本名	変更理由					
			アミン の酸塩	四級ア ンモニ ウム塩	アル コール の 에스 テル誘 導体	カルボ ン酸の エステル 誘導体	水和物	その他
248	ナロキソン塩酸塩	塩酸ナロキソン	○					
249	ニカルジピン塩酸塩	塩酸ニカルジピン	○					
250	ニカルジピン塩酸塩注射液	塩酸ニカルジピン注射液	○					
251	乳酸カルシウム水和物	乳酸カルシウム					○	
252	乳糖水和物	乳糖					○	
253	ネオスチグミンメチル硫酸塩	メチル硫酸ネオスチグミン	○					
254	ネオスチグミンメチル硫酸塩注射液	メチル硫酸ネオスチグミン注射液	○					
255	ネチルマイシン硫酸塩	硫酸ネチルマイシン	○					
256	ノスカピン塩酸塩水和物	塩酸ノスカピン	○				○	
257	ノルアドレナリン	ノルエピネフリン						○
258	ノルアドレナリン注射液	ノルエピネフリン注射液						○
259	ノルトリブチリン塩酸塩	塩酸ノルトリブチリン	○					
260	バカンピシリン塩酸塩	塩酸バカンピシリン	○					
261	パバベリン塩酸塩	塩酸パバベリン	○					
262	パバベリン塩酸塩注射液	塩酸パバベリン注射液	○					
263	パメタン硫酸塩	硫酸パメタン	○					
264	パラアミノサリチル酸カルシウム水和物	パラアミノサリチル酸カルシウム					○	
265	パンクロニウム臭化物	臭化パンクロニウム		○				
266	バンコマイシン塩酸塩	塩酸バンコマイシン	○					
267	注射用バンコマイシン塩酸塩	新収載	○					
268	ピコスルファートナトリウム水和物	ピコスルファートナトリウム					○	
269	ヒドララジン塩酸塩	塩酸ヒドララジン	○					
270	ヒドララジン塩酸塩散	塩酸ヒドララジン散	○					
271	ヒドララジン塩酸塩錠	塩酸ヒドララジン錠	○					
272	注射用ヒドララジン塩酸塩	注射用塩酸ヒドララジン	○					
273	ヒドロキシジン塩酸塩	塩酸ヒドロキシジン	○					
274	ヒドロキシジンパモ酸塩	パモ酸ヒドロキシジン	○					
275	ヒドロキシコバラミン酢酸塩	酢酸ヒドロキシコバラミン	○					
276	ヒドロコタルニン塩酸塩水和物	塩酸ヒドロコタルニン	○				○	
277	ヒドロコルチゾンコハク酸エステル	コハク酸ヒドロコルチゾン			○			
278	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム	コハク酸ヒドロコルチゾンナトリウム			○			
279	ヒドロコルチゾン酢酸エステル	酢酸ヒドロコルチゾン			○			
280	ヒドロコルチゾン酪酸エステル	酪酸ヒドロコルチゾン			○			
281	ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム	リン酸ヒドロコルチゾンナトリウム			○			
282	ピブメシリナム塩酸塩	塩酸ピブメシリナム	○					
283	ヒプロメロース	ヒドロキシプロピルメチルセル ロース2208 ヒドロキシプロピルメチルセル ロース2906 ヒドロキシプロピルメチルセル ロース2910						○
284	ヒプロメロースフタル酸エステル	ヒドロキシプロピルメチルセル ロースフタレート			○			○
285	ピベミド酸水和物	ピベミド酸三水和物					○	
286	ピペラジンアジピン酸塩	アジピン酸ピペラジン	○					
287	ピペラジンリン酸塩水和物	リン酸ピペラジン	○				○	
288	ピペラジンリン酸塩錠	リン酸ピペラジン錠	○					
289	ピベリデン塩酸塩	塩酸ピベリデン	○					
290	ピランテルパモ酸塩	パモ酸ピランテル	○					
291	ピリドキシリン塩酸塩	塩酸ピリドキシリン	○					
292	ピリドキシリン塩酸塩注射液	塩酸ピリドキシリン注射液	○					

Table 13 つづき

No	JP15日本名	JP14日本名	変更理由					
			アミン の酸塩	四級ア ンモニ ウム塩	アル コール のエス テル誘 導体	カルボ ン酸の エステ ル誘導 体	水和物	その他
293	ピリドスチグミン臭化物	臭化ピリドスチグミン		○				
294	ピレンゼピン塩酸塩水和物	塩酸ピレンゼピン水和物	○				○	
295	ピロカルピン塩酸塩	塩酸ピロカルピン	○					
296	ピンクリスチン硫酸塩	硫酸ピンクリスチン	○					
297	ピンブラスチン硫酸塩	硫酸ピンブラスチン	○					
298	注射用ピンブラスチン硫酸塩	注射用硫酸ピンブラスチン	○					
299	ファロベネムナトリウム水和物	ファロベネムナトリウム					○	
300	フェニレフリン塩酸塩	塩酸フェニレフリン	○					
301	フェンタニルクエン酸塩	クエン酸フェンタニル	○					
302	ブクモロール塩酸塩	塩酸ブクモロール	○					
303	ブチルスコボラミン臭化物	臭化ブチルスコボラミン		○				
304	ブトロビウム臭化物	臭化ブトロビウム		○				
305	ブナゾシン塩酸塩	塩酸ブナゾシン	○					
306	ブフェキサマククリーム	ブフェキサマク乳剤性軟膏						○
307	ブフェトロール塩酸塩	塩酸ブフェトロール	○					
308	ブプラノロール塩酸塩	塩酸ブプラノロール	○					
309	フラジオマイシン硫酸塩	硫酸フラジオマイシン	○					
310	プラステロン硫酸エステルナトリウム水和物	プラステロン硫酸ナトリウム			○		○	
311	フラボキサート塩酸塩	塩酸フラボキサート	○					
312	フルスルチアミン塩酸塩	塩酸フルスルチアミン	○					
313	フルフェナジンエナント酸エステル	エナント酸フルフェナジン			○			
314	フルラゼパム塩酸塩	塩酸フルラゼパム	○					
315	ブレオマイシン塩酸塩	塩酸ブレオマイシン	○					
316	ブレオマイシン硫酸塩	硫酸ブレオマイシン	○					
317	ブレドニゾロンコハク酸エステル	コハク酸ブレドニゾロン			○			
318	注射用ブレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム	注射用コハク酸ブレドニゾロンナトリウム			○			
319	ブレドニゾロン酢酸エステル	酢酸ブレドニゾロン			○			
320	プロカイン塩酸塩	塩酸プロカイン	○					
321	プロカイン塩酸塩注射液	塩酸プロカイン注射液	○					
322	プロカインアミド塩酸塩	塩酸プロカインアミド	○					
323	プロカインアミド塩酸塩錠	塩酸プロカインアミド錠	○					
324	プロカインアミド塩酸塩注射液	塩酸プロカインアミド注射液	○					
325	プロカテロール塩酸塩水和物	塩酸プロカテロール	○				○	
326	プロカルバジン塩酸塩	塩酸プロカルバジン	○					
327	プロクロルペラジンマレイン酸塩	マレイン酸プロクロルペラジン	○					
328	プロクロルペラジンマレイン酸塩錠	マレイン酸プロクロルペラジン錠	○					
329	プロタミン硫酸塩	硫酸プロタミン	○					
330	プロタミン硫酸塩注射液	硫酸プロタミン注射液	○					
331	プロチレリン酒石酸塩水和物	酒石酸プロチレリン	○				○	
332	プロパンテリン臭化物	臭化プロパンテリン		○				
333	プロプラノロール塩酸塩	塩酸プロプラノロール	○					
334	プロプラノロール塩酸塩錠	新収載	○					
335	プロムヘキシシム塩酸塩	塩酸プロムヘキシシム	○					
336	プロメタジン塩酸塩	塩酸プロメタジン	○					
337	プロモクリプチンメシル酸塩	メシル酸プロモクリプチン	○					
338	プロモバレリル尿素	プロムワレリル尿素						○
339	ベカナマイシン硫酸塩	硫酸ベカナマイシン	○					
340	ベクロメタゾンプロピオン酸エステル	プロピオン酸ベクロメタゾン			○			
341	ベタネコール塩化物	塩化ベタネコール		○				
342	ベタヒスチンメシル酸塩	メシル酸ベタヒスチン	○					
343	ベタヒスチンメシル酸塩錠	新収載	○					

Table 13 つづき

No	JP15日本名	JP14日本名	変更理由					
			アミン の酸塩	四級ア ンモニ ウム塩	アル コール のエステル誘 導体	カルボ ン酸の エステル誘 導体	水和物	その他
344	ベタメタゾン吉草酸エステル	吉草酸ベタメタゾン			○			
345	ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲ ンタマイシン硫酸塩クリーム	新収載	○		○			
346	ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲ ンタマイシン硫酸塩軟膏	新収載	○		○			
347	ベタメタゾンジプロピオン酸エス テル	ジプロピオン酸ベタメタゾン			○			
348	ベタメタゾンリン酸エステルナト リウム	リン酸ベタメタゾンナトリウム			○			
349	ベチジン塩酸塩	塩酸ベチジン	○					
350	ベチジン塩酸塩注射液	塩酸ベチジン注射液	○					
351	ベニジピン塩酸塩	塩酸ベニジピン	○					
352	ベニジピン塩酸塩錠	塩酸ベニジピン錠	○					
353	ペプロマイシン硫酸塩	硫酸ペプロマイシン	○					
354	ペラパミル塩酸塩	塩酸ペラパミル	○					
355	ペラパミル塩酸塩錠	新収載	○					
356	ペルフェナジンマレイン酸塩	マレイン酸ペルフェナジン	○					
357	ペルフェナジンマレイン酸塩錠	マレイン酸ペルフェナジン錠	○					
358	ベルベリン塩化物水和物	塩化ベルベリン		○				○
359	ベンザルコニウム塩化物	塩化ベンザルコニウム		○				
360	濃ベンザルコニウム塩化物液50	濃塩化ベンザルコニウム液50		○				
361	ベンザルコニウム塩化物液	塩化ベンザルコニウム液		○				
362	ベンジルペニシリンベンザチン水 和物	ベンジルペニシリンベンザチン						○
363	ベンゼトニウム塩化物	塩化ベンゼトニウム		○				
364	ベンゼトニウム塩化物液	塩化ベンゼトニウム液		○				
365	ベンセラジド塩酸塩	塩酸ベンセラジド	○					
366	ペントキシベリンクエン酸塩	クエン酸ペントキシベリン	○					
367	ペンブトロール硫酸塩	硫酸ペンブトロール	○					
368	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウム						○
369	ホマトロビン臭化水素酸塩	臭化水素酸ホマトロビン	○					
370	ホモクロルシクリジン塩酸塩	塩酸ホモクロルシクリジン	○					
371	ポリミキシンB硫酸塩	硫酸ポリミキシンB	○					
372	ホルモテロールフマル酸塩水和物	フマル酸ホルモテロール	○					○
373	マプロチリン塩酸塩	塩酸マプロチリン	○					
374	マルトース水和物	マルトース						○
375	マイクロマイシン硫酸塩	硫酸マイクロマイシン	○					
376	ミコナゾール硝酸塩	硝酸ミコナゾール	○					
377	ミデカマイシン酢酸エステル	酢酸ミデカマイシン			○			
378	ミノサイクリン塩酸塩	塩酸ミノサイクリン	○					
379	ムピロシンカルシウム水和物	ムピロシンカルシウム 水和物						○
380	メキシレチン塩酸塩	塩酸メキシレチン	○					
381	メクロフェノキサート塩酸塩	塩酸メクロフェノキサート	○					
382	メタンフェタミン塩酸塩	塩酸メタンフェタミン	○					
383	dl-メチルエフェドリン塩酸塩	dl-塩酸メチルエフェドリン	○					
384	dl-メチルエフェドリン塩酸塩散 10%	dl-塩酸メチルエフェドリン散 10%	○					
385	メチルエルゴメトリンマレイン酸 塩	マレイン酸メチルエルゴメトリン	○					
386	メチルエルゴメトリンマレイン酸 塩錠	マレイン酸メチルエルゴメトリン 錠	○					
387	メチルドパ水和物	メチルドパ						○
388	メチルプレドニゾロンコハク酸エ ステル	コハク酸メチルプレドニゾロン			○			
389	メチルペナクチジウム臭化物	臭化メチルペナクチジウム		○				
390	メチルロザニリン塩化物	塩化メチルロザニリン		○				
391	メテノロンエナント酸エステル	エナント酸メテノロン			○			

Table 13 つづき

No	JP15日本名	JP14日本名	変更理由					
			アミン の酸塩	四級ア ンモニ ウム塩	アル コー ルの エス テル 誘 導体	カル ボ ン 酸 の エス テル 誘 導 体	水和物	その他
392	メテノロンエナント酸エステル注射液	エナント酸メテノロン注射液			○			
393	メテノロン酢酸エステル	酢酸メテノロン			○			
394	メトプロロール酒石酸塩	新収載	○					
395	メトプロロール酒石酸塩錠	新収載	○					
396	メトホルミン塩酸塩	新収載	○					
397	メトホルミン塩酸塩錠	新収載	○					
398	メピバカイン塩酸塩	塩酸メピバカイン	○					
399	メピバカイン塩酸塩注射液	塩酸メピバカイン注射液	○					
400	メフロキン塩酸塩	新収載	○					
401	メペンゾラート臭化物	臭化メペンゾラート		○				
402	メルカプトプリン水和物	メルカプトプリン					○	
403	メロベネム水和物	メロベネム 三水和物					○	
404	モルヒネ塩酸塩水和物	塩酸モルヒネ	○				○	
405	モルヒネ塩酸塩錠	塩酸モルヒネ錠	○					
406	モルヒネ塩酸塩注射液	塩酸モルヒネ注射液	○					
407	ラニチジン塩酸塩	塩酸ラニチジン	○					
408	リシノプリル水和物	新収載					○	
409	L-リジン塩酸塩	塩酸L-リジン	○					
410	リゾチーム塩酸塩	塩化リゾチーム	○					
411	リトドリン塩酸塩	新収載	○					
412	リトドリン塩酸塩錠	新収載	○					
413	リボスタマイシン硫酸塩	硫酸リボスタマイシン	○					
414	リボフラビン酪酸エステル	酪酸リボフラビン			○			
415	リボフラビンリン酸エステルナトリウム	リン酸リボフラビンナトリウム			○			
416	リボフラビンリン酸エステルナトリウム注射液	リン酸リボフラビンナトリウム注射液			○			
417	リマプロスト アルファデクス	新収載						○
418	硫酸亜鉛水和物	硫酸亜鉛					○	
419	硫酸アルミニウムカリウム水和物	硫酸アルミニウムカリウム					○	
420	硫酸鉄水和物	硫酸鉄					○	
421	硫酸マグネシウム水和物	硫酸マグネシウム					○	
422	リンコマイシン塩酸塩水和物	塩酸リンコマイシン	○				○	
423	リン酸水素カルシウム水和物	リン酸水素カルシウム					○	
424	リン酸水素ナトリウム水和物	リン酸水素ナトリウム					○	
425	リン酸二水素カルシウム水和物	リン酸二水素カルシウム					○	
426	レチノール酢酸エステル	酢酸レチノール			○			
427	レチノールパルミチン酸エステル	パルミチン酸レチノール			○			
428	レナンピシリン塩酸塩	塩酸レナンピシリン	○					
429	レパロルファン酒石酸塩	酒石酸レパロルファン	○					
430	レパロルファン酒石酸塩注射液	酒石酸レパロルファン注射液	○					
431	レボチロキシンナトリウム水和物	レボチロキシンナトリウム					○	
432	レボメプロマジンマレイン酸塩	マレイン酸レボメプロマジン	○					
433	ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩	新収載	○		○			
434	ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩徐放カプセル	新収載	○		○			
435	ロキソプロフェンナトリウム水和物	ロキソプロフェンナトリウム					○	

れた品目については、JP14 での日本名が JP15 に別名として収載されています。

8. その他の改正点

医薬品名称委員会での審議の結果、局方全体に影響するいくつかの変更点が決まりましたので簡単に紹介します。

Table 14 英名の変更 (水和物)

- 水和物である場合は、「Hydrate」を付けて命名する。
 - 水和物の数は表記しない。
- <例>
- Azithromycin Hydrate (Azithromycin)
 Aspoxicillin Hydrate (Aspoxicillin)
 Atropine Sulfate Hydrate (Atropine Sulfate)
 Aminophylline Hydrate (Aminophylline)

注：() 内は、JP14での英名

8.1 分子式と分子量 (Table 17)

分子量は、局方が出版される直近の原子量表に基づいて計算するルールになっていますので、今回は2004年の原子量表を用いました。JP14の際は1999年の原子量表を用いており、原子量が変わっている原子があります。そのうち局方に影響が生じたものは亜鉛の原子量の変更で、原子量が65.39から65.409に変更されました。それに伴い亜鉛を含むいくつかの医薬品の分子量及び亜鉛を含む試薬・試液の含量規格や定量法の数値も変更されましたので

Table 15 英名の変更

- 日本名の変更に伴い英名も変更になった。
1. セルロース類
- <例>
- Cellacefate (Cellulose Acetate Phthalate)
 Hypromellose
 (Hydroxypropylmethylcellulose 2208,
 Hydroxypropylmethylcellulose 2906,
 Hydroxypropylmethylcellulose 2910)
 Hypromellose Phthalate
 (Hydroxypropylmethylcellulose Phthalate)
2. アドレナリン類
- <例>
- Adrenaline (Epinephrine)
 Adrenaline Solution (Epinephrine Solution)
 Adrenaline Injection (Epinephrine Injection)
3. 絨毛性性腺刺激ホルモン類
- <例>
- Human Chorionic Gonadotrophin (Chorionic Gonadotrophin)
 Human Chorionic Gonadotrophin for Injection
 (Chorionic Gonadotrophin for Injection)

注：() 内は、JP14での英名

Table 16 第15改正日本薬局方英名変更品目 新旧対照表

No	JP15日本名 (JP15Name)	JP15英名	JP14英名	変更理由	
				Hydrate	その他
1	アクリノール水和物	AcrinolHydrate	Acrinol	○	
2	アスポキシシリン水和物	Aspoxicillin Hydrate	Aspoxicillin	○	
3	アドレナリン	Adrenaline	Epinephrine		○
4	アドレナリン液	Adrenaline Solution	Epinephrine Solution		○
5	アドレナリン注射液	Adrenaline Injection	Epinephrine Injection		○
6	アトロピン硫酸塩水和物	Atropine Sulfate Hydrate	Atropine Sulfate	○	
7	アミノフィリン水和物	Aminophylline Hydrate	Aminophylline	○	
8	アンピシリン水和物	Ampicillin Hydrate	Ampicillin	○	
9	イプラトロピウム臭化物水和物	Ipratropium Bromide Hydrate	Ipratropium Bromide	○	
10	イミペネム水和物	Imipenem Hydrate	Imipenem	○	
11	エチルモルヒネ塩酸塩水和物	Ethylmorphine Hydrochloride Hydrate	Ethylmorphine Hydrochloride	○	
12	エデト酸ナトリウム水和物	Disodium Edetate Hydrate	Disodium Edetate	○	
13	エノキサシン水和物	Enoxacin Hydrate	Enoxacin	○	
14	塩化カルシウム水和物	Calcium Chloride Hydrate	Calcium Chloride	○	
15	オキシコドン塩酸塩水和物	Oxycodone Hydrochloride Hydrate	Oxycodone Hydrochloride	○	
16	カイニン酸水和物	Kainic Acid Hydrate	Kainic Acid	○	
17	カフェイン水和物	Caffeine Hydrate	Caffeine	○	
18	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物	Carbazochrome Sodium Sulfonate Hydrate	Carbazochrome Sodium Sulfonate	○	
19	カルビドパ水和物	Carbidopa Hydrate	Carbidopa	○	
20	キニジン硫酸塩水和物	Quinidine Sulfate Hydrate	Quinidine Sulfate	○	
21	キニーネ塩酸塩水和物	Quinine Hydrochloride Hydrate	Quinine Hydrochloride	○	

Table 16 つづき

No	JP15日本名 (JP15Name)	JP15英名	JP14英名	変更理由	
				Hydrate	その他
22	キニーネ硫酸塩水和物	Quinine Sulfate Hydrate	Quinine Sulfate	○	
23	クエン酸水和物	Citric Acid Hydrate	Citric Acid	○	
24	クエン酸ナトリウム水和物	Sodium Citrate Hydrate	Sodium Citrate	○	
25	グルコン酸カルシウム水和物	Calcium Gluconate Hydrate	Calcium Gluconate	○	
26	クロカプラミン塩酸塩水和物	Clocapramine Hydrochloride Hydrate	Clocapramine Hydrochloride	○	
27	クロキサシリンナトリウム水和物	Cloxacillin Sodium Hydrate	Cloxacillin Sodium	○	
28	コデインリン酸塩水和物	Codeine Phosphate Hydrate	Codeine Phosphate	○	
29	酢酸ナトリウム水和物	Sodium Acetate Hydrate	Sodium Acetate	○	
30	サッカリンナトリウム水和物	Saccharin Sodium Hydrate	Saccharin Sodium	○	
31	ジクロキサシリンナトリウム水和物	Dicloxacillin Sodium Hydrate	Dicloxacillin Sodium	○	
32	シクロホスファミド水和物	Cyclophosphamide Hydrate	Cyclophosphamide	○	
33	シプロヘプタジン塩酸塩水和物	Cyproheptadine Hydrochloride Hydrate	Cyproheptadine Hydrochloride	○	
34	ジラゼブ塩酸塩水和物	Dilazep Hydrochloride Hydrate	Dilazep Hydrochloride	○	
35	スキサメトニウム塩化物水和物	Suxamethonium Chloride Hydrate	Suxamethonium Chloride	○	
36	スクラルファート水和物	Sucralfate Hydrate	Sucralfate	○	
37	スコポラミン臭化水素酸塩水和物	Scopolamine Hydrobromide Hydrate	Scopolamine Hydrobromide	○	
38	スルタミシリントシル酸塩水和物	Sultamicillin Tosilate Hydrate	Sultamicillin Tosilate	○	
39	スルピリン水和物	Sulpyrine Hydrate	Sulpyrine	○	
40	スルファメノメトキシ水和物	Sulfamonomethoxine Hydrate	Sulfamonomethoxine	○	
41	ヒト絨毛性腺刺激ホルモン	Human Chorionic Gonadotrophin	Chorionic Gonadotrophin		○
42	注射用ヒト絨毛性腺刺激ホルモン	Human Chorionic Gonadotrophin for Injection	Chorionic Gonadotrophin for Injection		○
43	セフェピム塩酸塩水和物	Cefepime Dihydrochloride Hydrate	Cefepime Dihydrochloride	○	
44	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	Cefcapene Pivoxil Hydrochloride Hydrate	Cefcapene Pivoxil Hydrochloride	○	
45	セフトラジウム水和物	Ceftazidime Hydrate	Ceftazidime	○	
46	セフトチブテン水和物	Ceftibuten Hydrate	Ceftibuten	○	
47	セフトリアキソンナトリウム水和物	Ceftriaxone Sodium Hydrate	Ceftriaxone Sodium	○	
48	セフミノクスナトリウム水和物	Cefminox Sodium Hydrate	Cefminox Sodium	○	
49	セフロキサジン水和物	Cefroxadine Hydrate	Cefroxadine	○	
50	セラセフェート	Callacefate	Cellulose Acetate Phthalate		○
51	炭酸ナトリウム水和物	Sodium Carbonate Hydrate	Sodium Carbonate	○	
52	ダントロレンナトリウム水和物	Dantrolene Sodium Hydrate	Dantrolene Sodium	○	
53	チオ硫酸ナトリウム水和物	Sodium Thiosulfate Hydrate	Sodium Thiosulfate	○	
54	チメピジウム臭化物水和物	Timepidium Bromide Hydrate	Timepidium Bromide	○	
55	ツボクラリン塩化物塩酸塩水和物	Tubocurarine Chloride Hydrochloride Hydrate	Tubocurarine Chloride	○	
56	デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物	Dextromethorphan Hydrobromide Hydrate	Dextromethorphan Hydrobromide	○	
57	ドキサプラム塩酸塩水和物	Doxapram Hydrochloride Hydrate	Doxapram Hydrochloride	○	

Table 16 つづき

No	JP15日本名 (JP15Name)	JP15英名	JP14英名	変更理由	
				Hydrate	その他
58	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	Doxycycline Hydrochloride Hydrate	Doxycycline Hydrochloride	○	
59	トドララジン塩酸塩水和物	Todralazine Hydrochloride Hydrate	Todralazine Hydrochloride	○	
60	トリメトキノール塩酸塩水和物	Trimetoquinol Hydrochloride Hydrate	Trimetoquinol Hydrochloride	○	
61	乳酸カルシウム水和物	Calcium Lactate Hydrate	Calcium Lactate	○	
62	乳糖水和物	Lactose Hydrate	Lactose	○	
63	ノスカピン塩酸塩水和物	Noscapine Hydrochloride Hydrate	Noscapine Hydrochloride	○	
64	パラアミノサリチル酸カルシウム水和物	Calcium Para-aminosalicylate Hydrate	Calcium Para-aminosalicylate	○	
65	ピコスルファートナトリウム水和物	Sodium Picosulfate Hydrate	Sodium Picosulfate	○	
66	ヒドロコタルニン塩酸塩水和物	Hydrocotarnine Hydrochloride Hydrate	Hydrocotarnine Hydrochloride	○	
67	ヒプロメロース	Hypromellose	Hydroxypropylmethylcellulose 2208		○
			Hydroxypropylmethylcellulose 2906		○
			Hydroxypropylmethylcellulose 2910		○
68	ヒプロメロースフタル酸エステル	Hypromellose Phthalate	Hydroxypropylmethylcellulose Phthalate		○
69	ピペミド酸水和物	Pipemidic Acid Hydrate	Pipemidic Acid Trihydrate	○	
70	ピペラジンリン酸塩水和物	Piperazine Phosphate Hydrate	Piperazine Phosphate	○	
71	ファロペナムナトリウム水和物	Faropenem Sodium Hydrate	Faropenem Sodium	○	
72	プロカテロール塩酸塩水和物	Procatamol Hydrochloride Hydrate	Procatamol Hydrochloride	○	
73	プロチレリン酒石酸塩水和物	Protirelin Tartrate Hydrate	Protirelin Tartrate	○	
74	ベルベリン塩化物水和物	Berberine Chloride Hydrate	Berberine Chloride	○	
75	ホスホマイシンカルシウム水和物	Fosfomycin Calcium Hydrate	Fosfomycin Calcium	○	
76	ホルモテロール fumarate 水和物	Formoterol Fumarate Hydrate	Formoterol Fumarate	○	
77	マルトース水和物	Maltose Hydrate	Maltose	○	
78	メチルドパ水和物	Methyldopa Hydrate	Methyldopa	○	
79	メルカプトプリン水和物	Mercaptopurine Hydrate	Mercaptopurine	○	
80	メロペナム水和物	Meropenem Hydrate	Meropenem Trihydrate	○	
81	モルヒネ塩酸塩水和物	Morphine Hydrochloride Hydrate	Morphine Hydrochloride	○	
82	硫酸亜鉛水和物	Zinc Sulfate Hydrate	Zinc Sulfate	○	
83	硫酸アルミニウムカリウム水和物	Aluminum Potassium Sulfate Hydrate	Aluminum Potassium Sulfate	○	
84	硫酸鉄水和物	Ferrous Sulfate Hydrate	Ferrous Sulfate	○	
85	硫酸マグネシウム水和物	Magnesium Sulfate Hydrate	Magnesium Sulfate	○	
86	リンコマイシン塩酸塩水和物	Lincomycin Hydrochloride Hydrate	Lincomycin Hydrochloride	○	
87	リン酸水素カルシウム水和物	Dibasic Calcium Phosphate Hydrate	Dibasic Calcium Phosphate	○	
88	リン酸水素ナトリウム水和物	Dibasic Sodium Phosphate Hydrate	Dibasic Sodium Phosphate	○	

Table 16 つづき

No	JP15日本名 (JP15Name)	JP15英名	JP14英名	変更理由	
				Hydrate	その他
89	リン酸二水素カルシウム水和物	Monobasic Calcium Phosphate Hydrate	Monobasic Calcium Phosphate	○	
90	レボチロキシナトリウム水和物	Levothyroxine Sodium Hydrate	Levothyroxine Sodium	○	
91	ロキソプロフェンナトリウム水和物	Loxoprofen Sodium Hydrate	Loxoprofen Sodium	○	

Table 17 分子式と分子量

- 分子量及び式量は、2004年の原子量表に基づいて計算した。
 - JP14で使用していた1999年の原子量表と比較して、2004年の原子量表では、亜鉛の原子量が65.39から65.409に変更になった。
 - これに伴い亜鉛を含むいくつかの収載医薬品の分子量が変更された。
- <例>塩化亜鉛：136.32 (136.30)
酸化亜鉛：81.41 (81.39)
硫酸亜鉛水和物：287.58 (287.56)
- 亜鉛の原子量の変更に伴い、亜鉛を含む試薬・試液や医薬品の調製、含量規格、定量法の数値も変更された。

注：()内は、JP14での分子量

ご注意下さい。

8.2 化学名

今回、局方に収載されている約500品目の化学名の見直しを行いました。化学名は第十二改正日本薬局方で初めて記載されました。その後、個々の品目について適宜見直しするはありましたが、全体的な見直しは行っていませんでした。今回、JP15を作成するに当たって化学名の全体的な見直しを行いました。

1993年にIUPACが有機化合物の化学名の命名に関する新しい勧告を出して既に13年が経過し、化学の世界でも根付いてきています。今回、Table 18に示すようなIUPAC命名法に従って化学名を命名しました。

9. 日本名の変更の意義

慣れ親しんだ日本名の変更には、とまどいを感じている方もおられると思いますが、日本名の変更の意義は、薬効の本質成分が最初に書き表され、本質成分が明確に表現されるようになったこと、医薬品の構造が塩かエステルか、あるいは水和物かが明確

Table 18 化学名

化学名は、IUPAC命名法に従って命名。JP15での主な見直し点を以下に示す。

- 異性体表記「E, Z」, 「R, S」に、位置番号を付加。
- C3~C5の脂肪族カルボン酸の置換基は体系的名称を使用。
- 化学名に「iso」や「tert」を用いないことにした。
- N-置換化合物の化学名を、全体的に見直した。
- 4級アンモニウム塩の化学名に「aminium」を用いた。
- methane置換体の化学名を、全体的に見直した。
- 接頭語「hydro-」は、分離不可能接頭語とした。
- アルコール性水酸基とフェノール性水酸基の両方を持つ化合物の化学名を、全体的に見直し変更した。
- phenothiazine類では、指示水素「10H」を記載した。
- テトラサイクリン系化合物は、「tetracene」を用いた。
- オリゴ糖の化学名に、矢印表記「(O→Δ)」を採用した。
- 核酸関連物質は、原則的に慣用名を用いて化学名を命名した。

になったこと、更にmINNの英語表記と日本名の表記の書き方の順が整合したことです。

10. 今後の予定

平成18年3月31日に「日本薬局方の日本名命名法の変更に伴う医薬品の一般的名称の取扱いについて」という審査管理課長通知³⁾が出されました。その要点は、JP15で日本名が変更になった医薬品はJANを変更すること、及びJP15に収載されていない医薬品のうちJP15の命名法に従い変更を必要とする医薬品はJANを変更することです。現在こ

の作業を進めており、まとも次第通知したいと考えています。

えてご理解いただきたいと思います。

文 献

11. 医薬品の名前の役割

医薬品の一般的名称とは、医薬品を識別するための固有の名詞 (given name) です。しかし、一方では医薬品の顔として医薬品の本質を現す重要な役割を併せ持っています。“名は体を現す”というように、医薬品の本質を現す役割を担う医薬品の一般的名称は科学的に正しくなくてはなりません。今回の改正もこの基本方針に基づいた一つのステップと考

- 1) 第十五改正日本薬局方原案作成要領, 事務連絡, 平成 14 年 12 月 27 日.
- 2) 日本薬局方フォーラム, 13(4), 465 (2004).
- 3) 厚生労働省医薬食品局審査管理課長：日本薬局方の日本名命名法の変更に伴う医薬品の一般的名称 (JAN) の取扱いについて, 薬食審査発第 0331013 号, 平成 18 年 3 月 31 日, 医薬品研究, 37(9), 638 (2006).

特集

第15改正日本薬局方

③

収載医薬品の日本語と英名の 変更について

New Japanese and English Names of Drugs changed in the Japanese Pharmacopoeia 15th edition

名古屋市立大学大学院薬学研究科 薬化学研究室教授

宮田直樹

NAOKI MIYATA

Faculty of Pharmaceutical Sciences Nagoya City University

はじめに

(1) 「カフェイン」は「Caffeine」か？

医薬品の名前の世界では、答えは否である。正確には平成18年3月30日までは否であった。第14改正日本薬局方(JP14, 2001年告示)に収載されていた「カフェイン」は、分子式および分子量が(C₈H₁₀N₄O₂ · H₂O : 212.21)であり、構造式からも「カフェイン」がカフェインの一水和物であることがわかる(図1, 左図)。

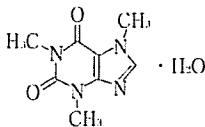
一方、ヨーロッパ薬局方(European Pharmacopoeia)の第4版(EP4)に収載されている「CAFFEINE」は、水和していないカフェイン、すなわち無水のカフェイン

(C₈H₁₀N₄O₂ : 194.2)である(図2, 左図)。

すなわち、JP14の「カフェイン」とEPの「CAFFEINE」は異なる医薬品を示していた。EP4には、「CAFFEINE」に加えて「CAFFEINE MONOHYDRATE」も収載されており、これがJP14の「カフェイン」に該当する(図2, 右図)。

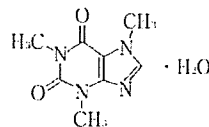
2005年、世界保健機関(WHO)の国際一般名(INN)専門家会議は、作業文書(International Nonproprietary Names(Modified) : Approaches for INN design—a review)を作成し、医薬品の水和物の一般名に「水和物(Hydrate)」を表記することを提案した。これにより、医薬品の名前が医薬品の実体をより正確に示すようになるからである。

カフェイン
Caffeine



C₈H₁₀N₄O₂ · H₂O : 212.21
3,7-Dihydro-
1,3,7-trimethyl-1*H*-purine-2,6-dione
monohydrate [5743-12-4]

カフェイン水和物
Caffeine Hydrate
カフェイン



C₈H₁₀N₄O₂ · H₂O : 212.21
1,3,7-Trimethyl-
1*H*-purine-2,6-(3*H*,7*H*)-dione
monohydrate [5743-12-4]

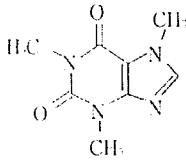
わが国では、2006年3月31日に公布された第15改正日本薬局方(JP15)において、日本名「カフェイン」が「カフェイン水和物」に変更された(図1, 右図)。この結果、JP15の「カフェイン水和物」はEP4の「CAFFEINE MONOHYDRATE」と、また、JP15の「無水カフェイン」がEP4の「CAFFEINE」と同一の実体を示すことになり、国際的な整合性が達成された。

図1 第14改正日本薬局方収載の「カフェイン」(左図)と第15改正日本薬局方収載の「カフェイン水和物」(右図)

第15改正日本薬局方①

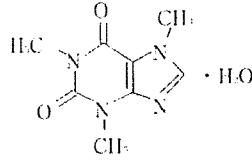
収載医薬品の日本名と英名の変更について

CAFFEINE
Coffeinum



C₈H₁₀N₄O₂ Mr 194.2

CAFFEINE MONOHYDRATE
Coffeinum monohydricum



C₈H₁₀N₄O₂ · H₂O Mr 212.2

図2 ヨーロッパ薬局方第4版収載の「CAFFEINE」(左図)と「CAFFEINE MONOHYDRATE」(右図)

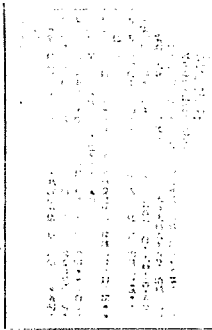
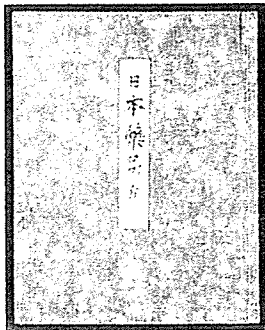


図3 日本薬局方(初版)表紙(左図)と収載されている「塩酸莫兒比涅(Morphini Hydrochloras)」(右図) エーザイ「薬の博物館」のホームページより

(2) 「塩酸モルヒネ」か「モルヒネ塩酸塩」か？

明治19年(1886年)に官報公布されたわが国最初の「日本薬局方(初版)」(図3, 左図)に、「塩酸莫兒比涅(Morphini Hydrochloras)」(図3, 右図)や「硫酸規尼實涅(Chinidini Sulphas)」が収載されている。

以来、120年間、われわれは「塩酸○○○○」や「硫酸○○○○」などの医薬品名に慣れ親しんできた。しかし、WHOは上と同じ作業文書(International Nonproprietary Names(Modified): Approaches for INN design - a review)の中で、医薬品が薬効本体成分の誘導体であるときの一般名は、本体成分の名前の後に誘導体部分の単語をつけるように提案している。

新たに公布されたJP15では、日本名「塩酸○○○○」や「硫酸○○○○」が、それぞれ「○○○○塩酸塩」や「○○○○硫酸塩」に変更された(図4)。この変更により、薬効本体の名称が医薬品名の最初に表記されるようになり、外国語表記(Morphine Hydrochloride)とも整合した。

これらの変更は、平成14年12月27日付けの厚生労働省医薬局審査管理課事務連絡「第十五改正日本薬局方原案

作成要領」に従うものである。以下に、JP15における日本名変更の具体例を述べる。

医薬品名から見た医薬品の分類と日本名の変更

わが国で流通している医薬品は、医薬品名から3つのグループに分類することができる。

(1) 薬効本体がそのまま認可されている医薬品の日本名

WHOのINN専門家会議では、薬効本体に対して国際一般名(INN)を命名する。INNが決まった化合物そのものがわが国で医薬品として認可されている場合が該当する。JP15に収載された医薬品で例をあげると、アザチオプリン、アズトレオナム、アセタゾラミド、アテノロール、アフロクアロンなどがこのグループに属する。

このグループに属する医薬品の日本名命名ルールに変更はない。しかし、以下の品目については、それぞれ個別の理由で日本名が変更された。

①セルロース類

WHOは、2002年に医薬品添加物であるセルロース類を体系的に整理しINNの変更を行った。日本薬局方に収載されているセルロース類は国際調和の対象品目であり、JP15では以下の2品目の日本名が変更された。矢印の左側が新日本名(JP15)、右側が旧日本名(JP14)を表す。

セラセフェート ← 酢酸フタル酸セルロース
ヒプロメロース ← ヒドロキシプロピルメチルセルロース

②アドレナリン類

アドレナリン類2品目の日本名が、エピネフリンからアドレナリンを用いる日本名に変更された。

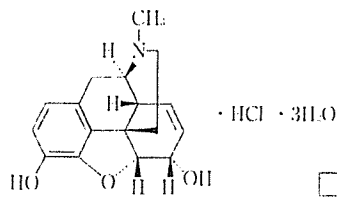
アドレナリン ← エピネフリン
ノルアドレナリン ← ノルエピネフリン

③性腺刺激ホルモン

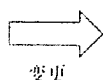
JP14収載の性腺刺激ホルモン2品目の日本名が、「絨毛性」を用いる名前に変更された。「胎盤性」から「絨毛性」への変更は科学的に一般性のある表現を採用した結果である。加えて、ヒト由来であることを明示する目的で「ヒト」の記載が加わった。

ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン ← 胎盤性性腺刺激ホルモン
注射用ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン ← 注射用胎盤性性腺刺激ホルモン

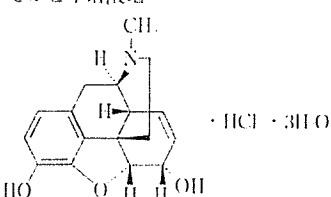
塩酸モルヒネ
Morphine Hydrochloride
モルヒネ塩酸塩



$C_{17}H_{19}NO \cdot HCl \cdot 3H_2O : 375.84$



モルヒネ塩酸塩水和物
Morphine Hydrochloride Hydrate
塩酸モルヒネ
モルヒネ塩酸塩



$C_{17}H_{19}NO \cdot HCl \cdot 3H_2O : 375.84$

アモキシシリン水和物

← アモキシシリン

アンピシリン水和物

← アンピシリン

など。

今回の改正では、水和物の数は表記しないこととした。しかし、WHOのINN専門家会議は、水和物について水和物の数を記載する（一水和物、二水和物、三水和物など）ことを推奨している。前に紹介したEP4の「CAFFEINE MONOHYDRATE」では、「MONOHYDRATE」と水和物の

数を表記している。日本名に水和物の数を表記するかどうかは、今後の検討課題である。

結晶水を有しない医薬品の日本名には「無水」を表記しないのが原則である。しかし、JP15では、日本名に「無水」を用いる4品目（「無水アンピシリン」、「無水カフェイン」、「無水クエン酸」、「無水乳糖」）が残った。これらは、先のルールに従うと、それぞれ「アンピシリン」、「カフェイン」、「クエン酸」、「乳糖」という新日本名になる。しかし、JP14では、それぞれの水和物が「アンピシリン」、「カフェイン」、「クエン酸」、「乳糖」という日本名で収載されていたため、たとえば「アンピシリン」という日本名が、JP14では水和物を、JP15では無水物を示すことになってしまい混乱が生じかねない。そのため、これらの4品目については、例外的に「無水」を付けたJP14の日本名をそのままJP15の日本名とした。「無水アンピシリン」「無水カフェイン」「無水クエン酸」「無水乳糖」からの「無水」の削除は、JP15で水和物に対して新たに付けられた「アンピシリン水和物」「カフェイン水和物」「クエン酸水和物」「乳糖水和物」の名前が定着した後に検討する必要がある

②アミンの塩

アミンの塩の日本名は、たとえば「塩酸アクラルピシン」のように、酸部分の名前「塩酸」を薬効本体部分の名前「アクラルピシン」の前に付けて命名していた。しかし、今回の改正で、先に紹介したように、医薬品の薬効本体部分の名前「アクラルピシン」の後に塩を表す「塩酸塩」を付けて命名することになった。

アクラルピシン塩酸塩 ← 塩酸アクラルピシン

アストロマイシン硫酸塩 ← 硫酸アストロマイシン

図4 第14改正日本薬局方収載の「塩酸モルヒネ」（左図）と第15改正日本薬局方収載の「モルヒネ塩酸塩水和物」（右図）

④プロモバレリル尿素

JP14収載の「プロムワレリル尿素」の日本名が「プロモバレリル尿素」に変更になった。「プロム」から「プロモ」、および、「ワレリル」から「バレリル」への変更は、化学的表記および字訳基準に従って行われた。

プロモバレリル尿素 ← プロムワレリル尿素

(2) 薬効本体の修飾化合物が認可されている医薬品の日本名

WHOのINN専門家会議で薬効本体に対してINNが決まった化合物の誘導体が医薬品となる場合で、水和物、塩、プロドラッグ（エステル体など）、包接体などが該当する。これらの医薬品の名前は、INNを修飾して命名されることから、modified INN (mINN) または alternative INN と呼ぶ。上に示したWHOの作業文書では、これらmINNについて医薬品の実体をより正確に表す命名法を提案している。今回、これらmINNのグループに属する医薬品の日本名が大幅に変更になった。以下、順に具体例をあげて詳述する。

①水和物

医薬品が水和物である場合、JP14では、「ムピロシカルシウム水和物」など一部の医薬品を除き、JP14収載のほとんどの日本名に「水和物」の表記はなかった。JP15では、先に「カフェイン」の例で示したように、水和物にはすべて「水和物」を付けて命名することになった。

アクリノール水和物 ← アクリノール

アスポキシリン水和物 ← アスポキシリン

アミノフィリン水和物 ← アミノフィリン



第15改正日本薬局方◎
収載医薬品の日本名と英名の変更について

アリメマジン酒石酸塩 ← 酒石酸アリメマジン
エリスロマイシステアリン酸塩
← ステアリン酸エリスロマイシン
エルゴメトリンマレイン酸塩←マレイン酸エルゴメトリン
など。

③四級アンモニウム塩

四級アンモニウム塩の日本名は、たとえば「塩化アンベニウム」のように、薬効本体部分を示す名前「アンベニウム」の前に塩のイオン名「塩化」を付けて命名していた。しかし、今回の改正で、医薬品の薬効本体部分の名前「アンベニウム」の後ろに四級塩であることを表す「塩化物」を付けて命名することになった。

アンベニウム塩化物 ← 塩化アンベニウム
エコチオパートヨウ化物 ← ヨウ化エコチオパート
ジスチグミン臭化物 ← 臭化ジスチグミン など。

④アルコールをエステル化したプロドラッグ

このグループのプロドラッグ類の日本名は、たとえば「安息香酸エストラジオール」のように、薬効本体部分を示す名前「エストラジオール」の前にエステル化部分の酸の名前「安息香酸」を付けて命名していた。しかし、今回の改正で、医薬品の薬効本体部分の名前「エストラジオール」の後にエステルであることを表す「安息香酸エステル」を付けて命名することになった。

エストラジオール安息香酸エステル
←安息香酸エストラジオール
キタサマイシン酢酸エステル←酢酸キタサマイシン
クリンダマイシンリン酸エステル
←リン酸クリンダマイシン
クロラムフェニコールパルミチン酸エステル
← パルミチン酸クロラムフェニコール
クロルフェネシンカルバミン酸エステル
←カルバミン酸クロルフェネシン
ジョサマイシンプロピオン酸エステル
←プロピオン酸ジョサマイシン など。

⑤カルボン酸をエステル化したプロドラッグ

このグループのプロドラッグの日本名は、たとえば「セフテラムピボキシル」のように、薬効本体部分を示す名前「セフテラム」と、WHOのINN専門家会議がエステル化部分の官能基名として決めた「ピボキシル」をスペースなしで続けて命名していた。今回の改正で、医薬品の薬効本体部分の名前「セフテラム」とエステル化部分の官能基名「ピボキシル」との間にスペースを付けて命名することになった。

セフテラム ピボキシル ← セフテラムピボキシル
セフボドキシム プロキセチル
←セフボドキシムプロキセチル
セフロキシム アキセチル← セフロキシムアキセチル
など。

⑥包接体

シクロデキストラン包接化合物は、WHOのINN専門家会議が α -シクロデキストランを示す名前として決めた「アルファデクス」の前にスペースを入れ、二語式命名法で命名することになった。

アルプロスタジル アルファデクス
←アルプロスタジルアルファデクス
リマプロスト アルファデクス
←リマプロストアルファデクス など。

(3)製剤の日本名

製剤化された医薬品の名前は、薬効本体あるいはその誘導体の日本名の変更に伴って変更された。以下に、JP15での主な日本名の変更を列記する。

・「エピネフリン」から「アドレナリン」への日本名変更に伴って、以下の製剤3品目の日本名が変更になった。

アドレナリン液 ← エピネフリン液
アドレナリン注射液 ← エピネフリン注射液
ノルアドレナリン注射液 ← ノルエピネフリン注射液

・「ワレリル尿素」から「バレリル尿素」への日本名変更に伴って、以下の変更がなされた。

ジフェンヒドラミン・バレリル尿素散
← ジフェンヒドラミン・ワレリル尿素散

・「乳剤性軟膏」が「クリーム」に変更になった。

ブフェキサマククリーム←ブフェキサマク乳剤性軟膏

なお、先に述べたように、今回の改正で、医薬品が水和物である場合には「水和物」の表記をすることになったが、製剤の日本名には、原薬として水和物を用いても「水和物」を表記しないことになった。以下に例を示す。かっこ内は、使用されている原薬の日本名を示す。

注射用クエン酸ナトリウム液(クエン酸ナトリウム水和物)

スキサメトニウム塩化物注射液(スキサメトニウム塩化物水和物)

コデインリン酸塩散 1%(コデインリン酸塩水和物)

ピペラジンリン酸塩錠(ピペラジンリン酸塩水和物)

など

本稿末に掲載した表1に第15改正日本薬局方で日本名が変更された品目の一覧を示す。



日本名の変更に伴う英名の変更

日本名の変更に伴って、英名も変更になったが、その大部分は水和物の英名の変更である。たとえば、「アクリノール」は「アクリノール水和物」に日本名が変更になり、これに伴い英名も「Acrinol」から「Acrinol Hydrate」に変更された。水和物の例を、以下に示す。

アクリノール水和物：Acrinol Hydrate ← Acrinol

アスポキシシリン水和物：Aspoxicillin Hydrate

← Aspoxicillin

アミノフィリン水和物：Aminophylline Hydrate

← Aminophylline

アモキシシリン水和物：Amoxicillin Hydrate

← Amoxicillin

アンピシリン水和物：Ampicillin Hydrate

← Ampicillin など。

これ以外の英名の変更を以下に示す。

①アドレナリン類

アドレナリン：Adrenaline ← Epinephrine

アドレナリン液：Adrenaline Solution

← Epinephrine Solution

アドレナリン注射液：Adrenaline Injection

← Epinephrine Injection

ノルアドレナリン：Noradrenaline ← Norepinephrine

ノルアドレナリン注射液：Noradrenaline Injection

← Norepinephrine Injection

②セルロース類

セラセフェート：Cellacefate

← Cellulose Acetate Phthalate

ヒプロメロース：Hypromellose

← Hydroxypropylmethylcellulose

ヒプロメロースフタル液エステル：Hypromellose Phthalate

← Hydroxypropylmethylcellulose Phthalate

③性腺刺激ホルモン類

ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン：Human Chorionic Gonadotrophin

← Chorionic Gonadotrophin

注射用ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン：Human Chorionic Gonadotrophin for Injection

← Chorionic Gonadotrophin for Injection



第15改正日本薬局方

収載医薬品の日本名と英名の変更について

④チアミン類

チアミン塩化物塩酸塩：Thiamine Chloride Hydrochloride ← Thiamine Hydrochloride

チアミン塩化物塩酸塩散：Thiamine Chloride Hydrochloride Powder ← Thiamine Hydrochloride Powder

チアミン塩化物塩酸塩注射液：Thiamine Chloride Hydrochloride Injection ← Thiamine Hydrochloride Injection

⑤無水エタノール

無水エタノール：Anhydrous Ethanol ← Dehydrated Ethanol

本稿末に掲載した表2に第15改正日本薬局方で英名が変更された品目の一覧を示す。



JP15収載医薬品の日本名 変更に伴うJANの取扱い

平成18年3月31日付けの厚生労働省医薬食品局審査管理課長通知「日本薬局方の日本名命名法の変更に伴う医薬品の一般的名称(JAN)の取扱いについて」(薬食審査発第0331013号)により、局方収載医薬品で日本名が変更になったものは、そのJANも自動的に変更されることが通知された。また、局方に収載されていない医薬品のJANについても、新しい命名法に従った日本名が従来のJANと異なるものは、新名称に変更される。ただし、当分の間は、現行のJANを従来通り使用して差し支えない。

おわりに

JP15では、収載された1,483品目のうち435品目の日本名が変更された。これらの変更の大部分は、薬効本体の化学構造修飾化合物、すなわち、mINNに該当する医薬品の名前である。この結果、薬効の本質成分が日本名の最初に書き表されるようになり、本質成分が明確に表現されるようになるとともに、日本名がmINNの英語表記法や諸外国の英名の表記とも整合した。また、医薬品が塩かエステルか、水和物か、など化学構造に関する情報も明確になった。また、今回、日本名の変更に伴い、103品目の英名が変更になった。

1953年、WHOは、医薬品には使用が制限される登録商標(商品名)のような名前ではなく、世界中の人類が共

通に自由に使うことができる名前が必要であると考え、医薬品国際一般名(INN, International Nonproprietary Name)を決める専門家会議を発足させた。それから現在まで50余年の間に、INN専門家会議は9,000余りの医薬品(薬効本体)の国際一般名を審議してきた。医薬品は、人類が英知を集約して産み出した人類共通の財産である。医薬品は、必要とする人に必要な医薬品が間違いなく正確に届き、役に立たねばならない。INN専門家会議が行ってきた膨大な努力のモチベーションの原点はまさにこの点にある。医薬品の一般的名称は、医薬品を識別するためにつけられた固有名詞であり、given nameとしての意味合いがある。しかし一方、「名は体を表す」の言葉で示されるように、医薬品の顔としてその医薬品の本質を表す役割も併せ持っている。医薬品の本質を表す役割の一部を担う医薬品の一般的名称は、科学的に正しく、少なくとも間違いや誤解を招かない名前であってはならない。今回の日本名命名ルールの改正による医薬品名の変更は、医療の現場で一時的に若干の混乱を招くかもしれない。しかし、この変更により、わが国の医薬品の一般的名称が、科学的により正しいものに整備されたことを確信している。わが国の医薬品の一般名が、今後より一層、国際的な規範になることを願う。

参考文献

- 1) 第15改正日本薬局方(普及版)、じほう(2006)
- 2) 第15改正日本薬局方原案作成要領(平成13年11月8日、日本薬局方部会報告、<http://www.nihs.go.jp/mhlw/jouhou/jp/index.html>)
- 3) 第14改正日本薬局方名称データベース、厚生労働省国立医薬品食品衛生研究所、<http://moldb.nihs.go.jp/jp/default.htm>
- 4) 薬食審査発第0331013号、日本薬局方の日本名命名法の変更に伴う医薬品の一般的名称(JAN)の取扱いについて、平成18年3月31日
- 5) 世界保健機構(WHO)医薬品国際一般名データベース、<http://mednet.who.int/>(利用には登録が必要)

表1 第15改正日本薬局方で日本名が変更された品目の一覧表

品目	旧名	新名	変更種別	備考
1) セルロース類				
セラセフェート		酢酸フタル酸セルロース		
ヒプロメロース		ヒドロキシプロピルメチルセルロース2208		
		ヒドロキシプロピルメチルセルロース2906		
		ヒドロキシプロピルメチルセルロース2910		
ヒプロメロースフタル酸エステル		ヒドロキシプロピルメチルセルロースフタレート		
2) アドレナリン類				
アドレナリン		エピネフリン		
アドレナリン液		エピネフリン液		
アドレナリン注射液		エピネフリン注射液		
ノルアドレナリン		ノルエピネフリン		
ノルアドレナリン注射液		ノルエピネフリン注射液		
3) 性腺刺激ホルモン類				
ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン		胎盤性性腺刺激ホルモン		
注射用ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン		注射用胎盤性性腺刺激ホルモン		
4) プロモワレリル尿素類				
プロモバレリル尿素		プロムワレリル尿素		
ジフェンヒドラミン・バレリル尿素散		ジフェンヒドラミン・ワレリル尿素散		
5) 水和物				
アクリノール水和物		アクリノール		
アスポキシシリン水和物		アスポキシシリン		
アトロピン硫酸塩水和物		硫酸アトロピン		
アミノファイリン水和物		アミノファイリン		
アモキシシリン水和物		アモキシシリン		
アンピシリン水和物		アンピシリン		
イプラトロピウム臭化物水和物		臭化イプラトロピウム		
イミペネム水和物		イミペネム		
エチルモルヒネ塩酸塩水和物		塩酸エチルモルヒネ		
エデト酸ナトリウム水和物		エデト酸ナトリウム		
エノキサシン水和物		エノキサシン		
塩化カルシウム水和物		塩化カルシウム		
オキシコドン塩酸塩水和物		塩酸オキシコドン		
カイニン酸水和物		カイニン酸		
カフェイン水和物		カフェイン		
カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物		カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム		
カルビドバ水和物		カルビドバ		
キニジン硫酸塩水和物		硫酸キニジン		
キニーネ塩酸塩水和物		塩酸キニーネ		
キニーネ硫酸塩水和物		硫酸キニーネ		
クエン酸水和物		クエン酸		
クエン酸ナトリウム水和物		クエン酸ナトリウム		
グルコン酸カルシウム水和物		グルコン酸カルシウム		
クロカブラミン塩酸塩水和物		塩酸クロカブラミン		
クロキサシリンナトリウム水和物		クロキサシリンナトリウム		
コデインリン酸塩水和物		リン酸コデイン		
酢酸ナトリウム水和物		酢酸ナトリウム		
サッカリンナトリウム水和物		サッカリンナトリウム		
ジクロキサシリンナトリウム水和物		ジクロキサシリンナトリウム		
シクロホスファミド水和物		シクロホスファミド		
シプロヘプタジン塩酸塩水和物		塩酸シプロヘプタジン		
ジラゼブ塩酸塩水和物		塩酸ジラゼブ		
スキサメトニウム塩化物水和物		塩化スキサメトニウム		
スクラルファート水和物		スクラルファート		

(次ページへ続く)

第15改正日本薬局方

収載医薬品の日本名と英名の変更について

(前ページからの続き)

スコポラミン臭化水素酸塩水和物	臭化水素酸スコポラミン	<input type="checkbox"/>
スバクチノマイシン塩酸塩水和物	塩酸スバクチノマイシン	<input type="checkbox"/>
スルタミシリントシル酸塩水和物	トシル酸スルタミシリン	<input type="checkbox"/>
スルピリン水和物	スルピリン	<input type="checkbox"/>
スルファモノメトキシ水和物	スルファモノメトキシ	<input type="checkbox"/>
セフェビム塩酸塩水和物	塩酸セフェビム	<input type="checkbox"/>
セフカベン ヒポキシル塩酸塩水和物	塩酸セフカベン ヒポキシル	<input type="checkbox"/>
セフタジジム水和物	セフタジジム	<input type="checkbox"/>
セフチブテン水和物	セフチブテン	<input type="checkbox"/>
セフトリアキソンナトリウム水和物	セフトリアキソンナトリウム	<input type="checkbox"/>
セフミノクスナトリウム水和物	セフミノクスナトリウム	<input type="checkbox"/>
セフロキサジン水和物	セフロキサジン	<input type="checkbox"/>
炭酸ナトリウム水和物	炭酸ナトリウム	<input type="checkbox"/>
ダントロレンナトリウム水和物	ダントロレンナトリウム	<input type="checkbox"/>
チオ硫酸ナトリウム水和物	チオ硫酸ナトリウム	<input type="checkbox"/>
チメジウム臭化物水和物	臭化チメジウム	<input type="checkbox"/>
ツボクラリン塩化物塩酸塩水和物	塩化ツボクラリン	<input type="checkbox"/>
テキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物	臭化水素酸テキストロメトルファン	<input type="checkbox"/>
ドキサフラム塩酸塩水和物	塩酸ドキサフラム	<input type="checkbox"/>
ドキシサイクリン塩酸塩水和物	塩酸ドキシサイクリン	<input type="checkbox"/>
ドドラジン塩酸塩水和物	塩酸ドドラジン	<input type="checkbox"/>
ドリメキノール塩酸塩水和物	塩酸ドリメキノール	<input type="checkbox"/>
乳酸カルシウム水和物	乳酸カルシウム	<input type="checkbox"/>
乳糖水和物	乳糖	<input type="checkbox"/>
ノスカピン塩酸塩水和物	塩酸ノスカピン	<input type="checkbox"/>
パラアミノサリチル酸カルシウム水和物	パラアミノサリチル酸カルシウム	<input type="checkbox"/>
ピコスルファートナトリウム水和物	ピコスルファートナトリウム	<input type="checkbox"/>
ヒドロコタルニン塩酸塩水和物	塩酸ヒドロコタルニン	<input type="checkbox"/>
ピバミド酸水和物	ピバミド酸水和物	<input type="checkbox"/>
ピペラジンリン酸塩水和物	リン酸ピペラジン	<input type="checkbox"/>
ピレンゼピン塩酸塩水和物	塩酸ピレンゼピン水和物	<input type="checkbox"/>
フェロバネムナトリウム水和物	フェロバネムナトリウム	<input type="checkbox"/>
プラステロン硫酸エステルナトリウム水和物	プラステロン硫酸ナトリウム	<input type="checkbox"/>
プロカテロール塩酸塩水和物	塩酸プロカテロール	<input type="checkbox"/>
プロチレリン酒石酸塩水和物	酒石酸プロチレリン	<input type="checkbox"/>
バルベリン塩化物水和物	塩化バルベリン	<input type="checkbox"/>
ベンジルベニシリンベンザチン水和物	ベンジルベニシリンベンザチン	<input type="checkbox"/>
ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウム	<input type="checkbox"/>
ホルモテロールフマル酸塩水和物	フマル酸ホルモテロール	<input type="checkbox"/>
マルトース水和物	マルトース	<input type="checkbox"/>
ムピロシンカルシウム水和物	ムピロシンカルシウム 水和物	<input type="checkbox"/>
メチルドバ水和物	メチルドバ	<input type="checkbox"/>
メルカプトプリン水和物	メルカプトプリン	<input type="checkbox"/>
メロバネム水和物	メロバネム 水和物	<input type="checkbox"/>
モルヒネ塩酸塩水和物	塩酸モルヒネ	<input type="checkbox"/>
リシノプリル水和物	新収載	<input type="checkbox"/>
硫酸亜鉛水和物	硫酸亜鉛	<input type="checkbox"/>
硫酸アルミニウムカリウム水和物	硫酸アルミニウムカリウム	<input type="checkbox"/>
硫酸鉄水和物	硫酸鉄	<input type="checkbox"/>
硫酸マグネシウム水和物	硫酸マグネシウム	<input type="checkbox"/>
リンコマイシン塩酸塩水和物	塩酸リンコマイシン	<input type="checkbox"/>
リン酸水素カルシウム水和物	リン酸水素カルシウム	<input type="checkbox"/>
リン酸水素ナトリウム水和物	リン酸水素ナトリウム	<input type="checkbox"/>
リン酸二水素カルシウム水和物	リン酸二水素カルシウム	<input type="checkbox"/>
レボチロキシチンナトリウム水和物	レボチロキシチンナトリウム	<input type="checkbox"/>
ロキソプロフェンナトリウム水和物	ロキソプロフェンナトリウム	<input type="checkbox"/>
6) アミンの塩		
アクラルピシン塩酸塩	塩酸アクラルピシン	<input type="checkbox"/>
アストロマイシン硫酸塩	硫酸アストロマイシン	<input type="checkbox"/>
アセプトロール塩酸塩	塩酸アセプトロール	<input type="checkbox"/>
アトロピン硫酸塩注射液	硫酸アトロピン注射液	<input type="checkbox"/>
アヘンアルカロイド塩酸塩	塩酸アヘンアルカロイド	<input type="checkbox"/>

(次ページへ続く)